



HP Device Manager4.7

インストール・アップデート手順書

目次

はじめに	2
HPDM の構成の概要	3
1.インストール先のサーバーの準備	4
2.HPDM Softpaq の入手と展開	6
3.HPDM の新規インストール	9
4.マスターリポジトリの設定	17
5.HPDM のアップデート	20

はじめに

本資料では HP Device Manager4.7 の標準的な新規インストール手順とアップデート手順を説明します。

新規インストールの場合は、“1.インストール先のサーバーの準備” から “4.マスターリポジトリの設定” までを実施してください。HP Device Manager が使用するデータベースには HP Device Manager のインストーラに付属する PostgreSQL を使用します。

アップデートの場合は、“2.HPDM Softpaq の入手と展開” と “5.HPDM のアップデート” を実施してください。

HPDM の構成の概要

HP Device Manager は以下のコンポーネントから構成されています。

- HPDM コンソール
管理者が HP Device Manager を操作するためのユーザインターフェイス
- HPDM サーバー
すべての管理活動を制御する中心的なサーバーで SQL データベースを使用します
- HPDM ゲートウェイ
シンククライアント端末上で動作する HPDM エージェントと HPDM サーバーを中継する役割を持ちます
- マスターリポジトリコントローラー
マスターリポジトリ上で動作して HPDM が使用するツールやファイル等のコンテンツを他の子リポジトリに同期する役割を持ちます
- HPDM エージェント
デバイス管理に必要なとなるシンククライアント側のソフトウェア（シンククライアント端末にプリインストールされています）

1. インストール先のサーバーの準備

本資料の手順では Windows Server 2008 R2 が動作する物理または仮想サーバーへのインストールを想定しています。最低 10GB 以上のディスクの空き容量が必要になります。サーバーの要件は HP Device Manager4.7 のリリースノートをご参照ください。HP Device Manager4.7 のリリースノートは HP Device Manager4.7 の Softpaq (SP72473.exe) を展開したフォルダ (C:\SWSetup\SP72473_HPDM47) に作成されます。

HPDM ユーザーアカウントの作成

HPDM をインストールするサーバーにユーザーアカウントを追加します。このユーザーアカウントは HP Device Manager のサービスの起動や FTP/ファイル共有リポジトリへのアクセスに使用します。以下の手順ではユーザー名 “hpdmdm” を使用します。

ファイルリポジトリ (FTP サーバー) の設定

HPDM ではシンクライアント端末とのファイルのやりとりに FTP サーバーを使用します。HPDM のインストール後に設定するユーザーアカウントが読み書きできる FTP サーバーを作成する必要があります。本資料の手順では FTP サイトのコンテンツディレクトリを “C:\inetpub\Ftproot” に設定されている事を想定しています。

FTP サーバーの設定は以下のホワイトペーパーを参考にしてください。

ftp://ftp.hp.com/pub/hpdm/Documentation/WhitePapers/4.6/WP_HPDM4.6_FTP_Configuration.pdf

Windows ファイアウォールの設定

Windows Server 2008R2 では Windows ファイアウォールが初期状態で有効になっています。Windows ファイアウォールを有効にしたまま HP Device Manager を使用する場合は以下の手順で Windows ファイアウォールの例外ルール設定をする必要があります。

1. コマンドプロンプトを管理者モードで起動します。
2. 次のコマンドを実行して FTP サーバーのための例外ルールを設定します。

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" FTP(non-SSL)" action=allow protocol=TCP dir=in localport=21
```

```
netsh advfirewall set global StatefulFtp disable
```

3. 次のコマンドを実行して HPDM サーバー、HPDM ゲートウェイ、HPDM エージェント間の通信のための例外ルールを設定します。

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HP Device Manager UDP IN" action=allow protocol=UDP dir=in localport=40000
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HP Device Manager UDP OUT" action=allow protocol=UDP dir=out localport=40000
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HP Device Manager TCP IN" action=allow protocol=UDP dir=in localport=40001-40009,40012
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HP Device Manager TCP OUT" action=allow protocol=UDP dir=out localport=40001-40009,40012
```

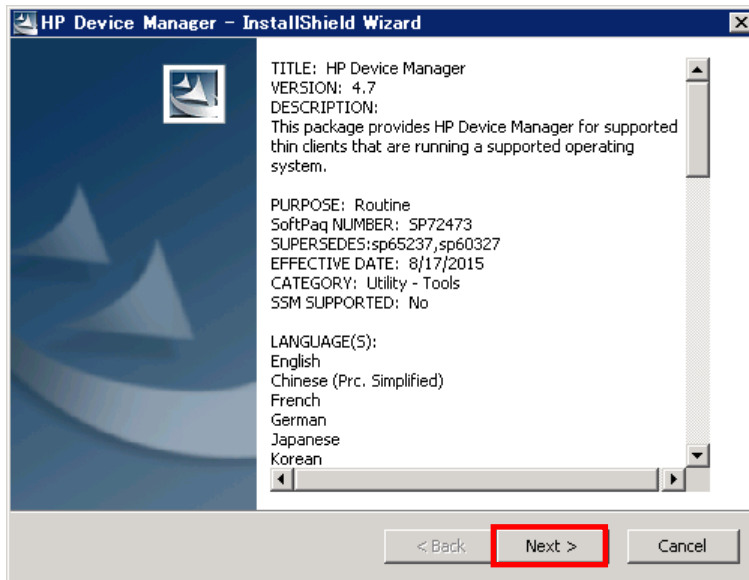
```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HPDM Console" action=allow protocol=UDP dir=in localport=5500
```

```
netsh advfirewall firewall add rule name=" HPDM RMI Query" action=allow protocol=UDP dir=in localport=1099
```

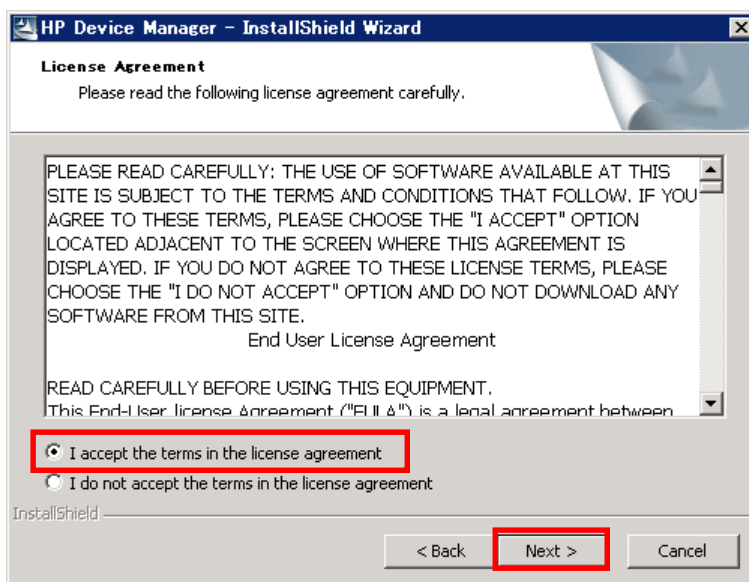
2.HPDM Softpaq の入手と展開

ダウンロードした HPDM インストール用の Softpaq を展開し、HPDM のインストーラを取り出します。

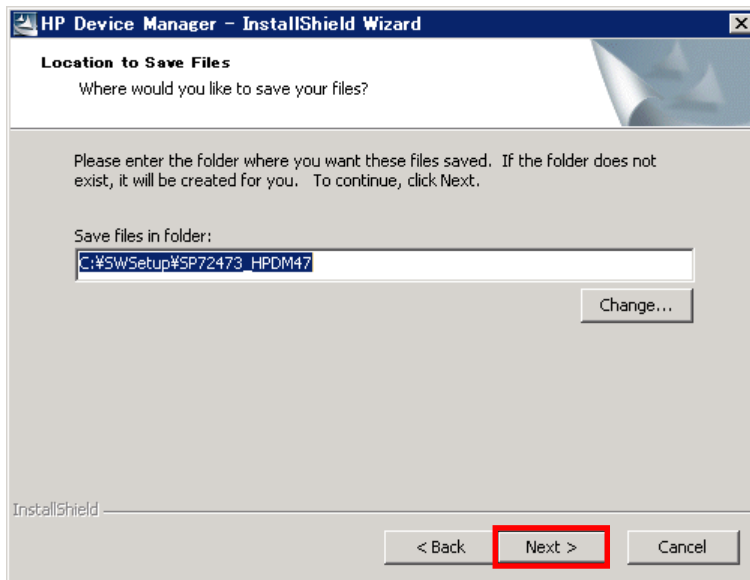
1. PC またはインストール先のサーバーから Web ブラウザを起動して以下の URL にアクセスします。
2. HP Device Manager4.7 (SP72473.exe) をダウンロードします。
3. ダウンロードした SP72473.exe をインストール先のサーバーで実行します。
4. HP Device Manager – Install ShieldWizard で “Next” をクリックします。



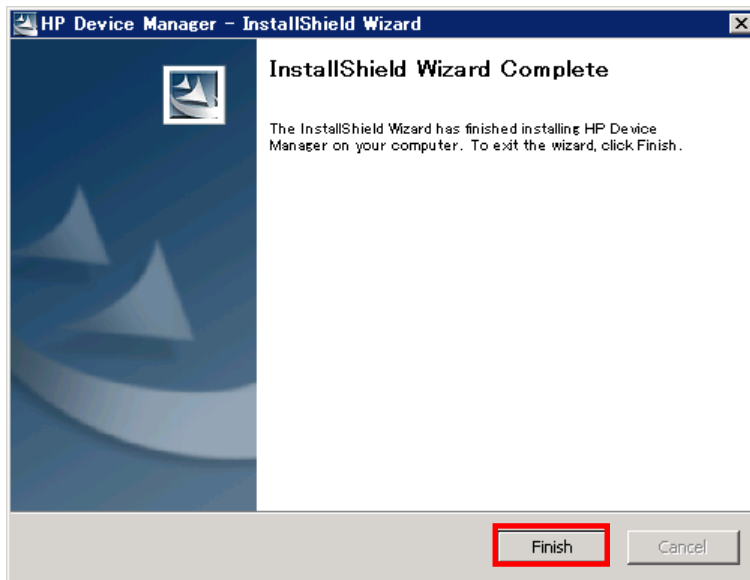
5. License Agreement 画面で “I accept the terms in the license agreement” を選択して、“Next” をクリックします。



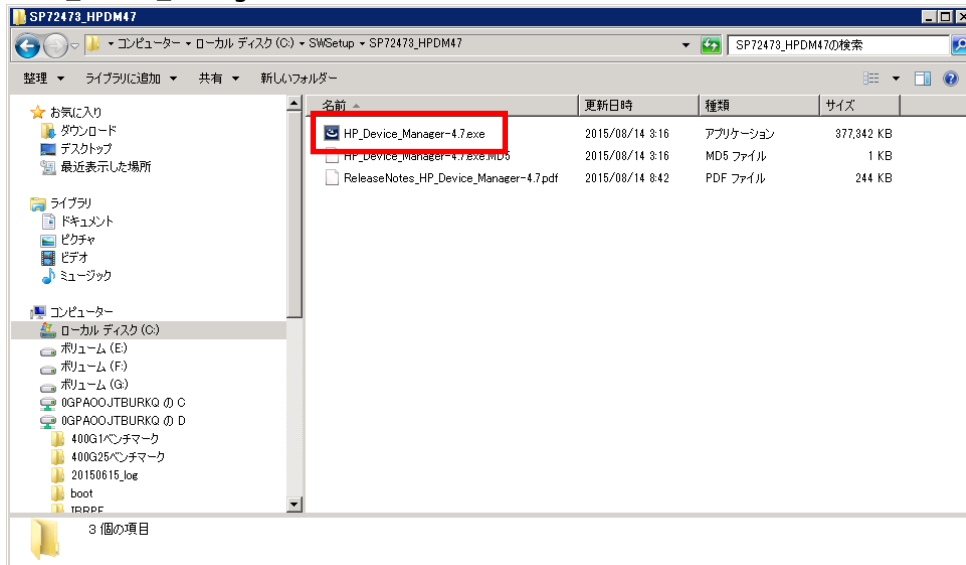
6. Location to Save File 画面で展開先のフォルダを確認して “Next” をクリックします。



7. InstallShield Wizard Complete 画面で “Finish” をクリックします。



8. C:\SWSetup\SP72473_HPDM47 フォルダに HP Device Manager のインストーラー (HP_Device_Manager-4.7.exe) が展開されます。



3.HPDM の新規インストール

HPDM のインストーラを実行して HPDM をインストールします。以下の手順では HPDM コンソール、HPDM サーバー、HPDM ゲートウェイ、マスターリポジトリコントローラーを 1 台のサーバーにインストールする標準的なインストール方法を説明します。

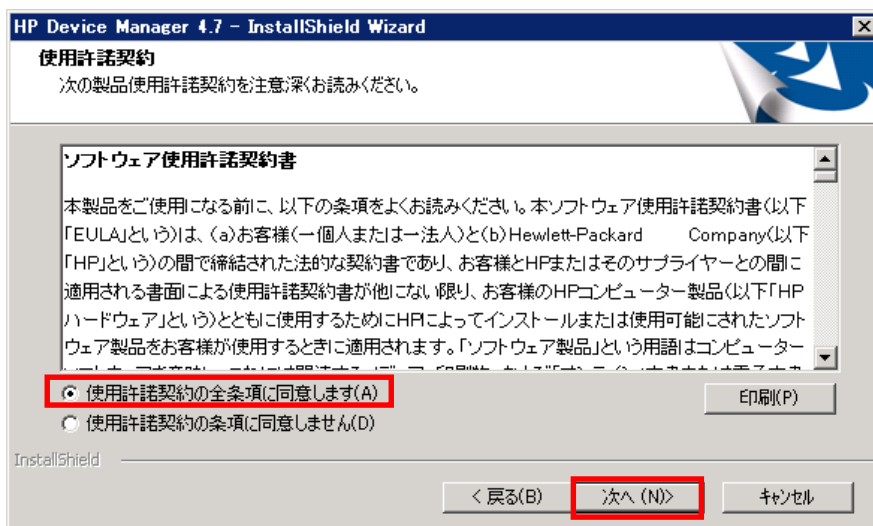
1. HPDM のインストールの先サーバーに管理者権限のあるユーザーログオンして HP Device Manager のインストーラ（HP_Device_Manager-4.7.exe）を実行します。

※またはインストーラを“管理者として実行”します。

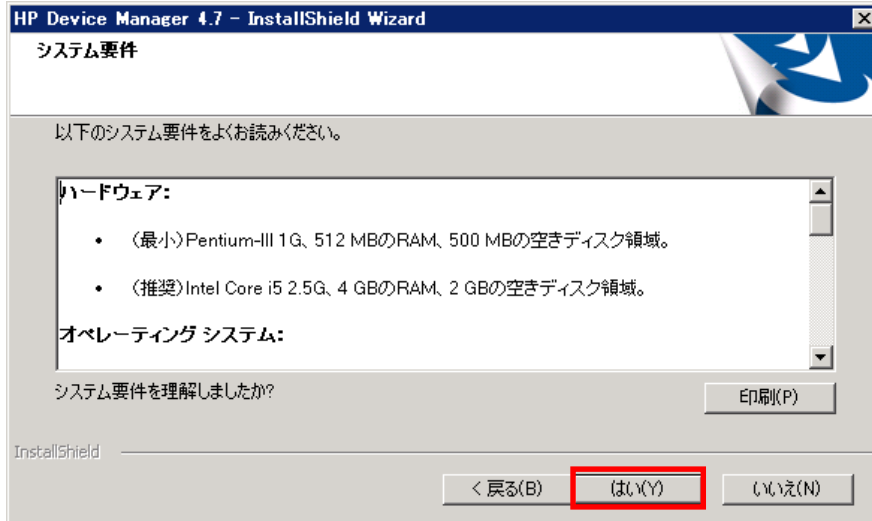
2. HP Device Manager 4.7 の InstallShield Wizard へようこそ画面で、“次へ”をクリックします。



3. 使用許諾契約画面で“使用許諾契約の全条項に同意します”を選択し、“次へ”をクリックします。



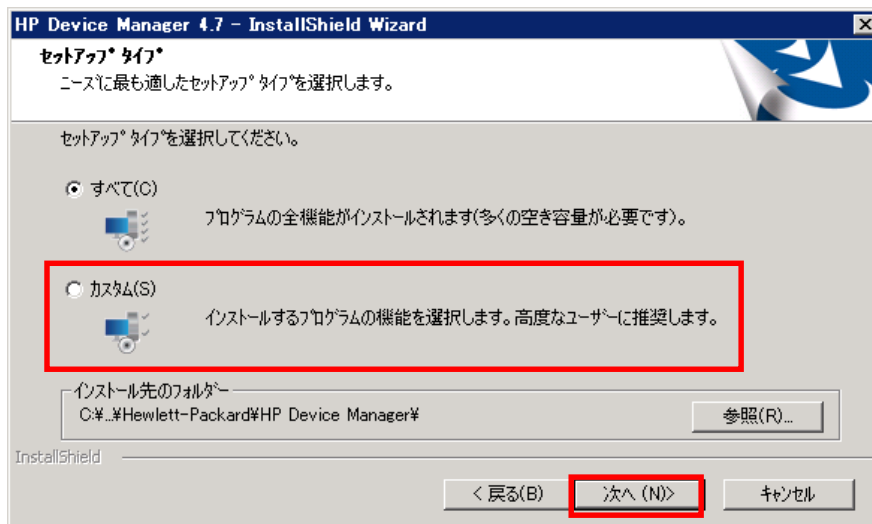
4. システム要件画面で、“はい” をクリックします。



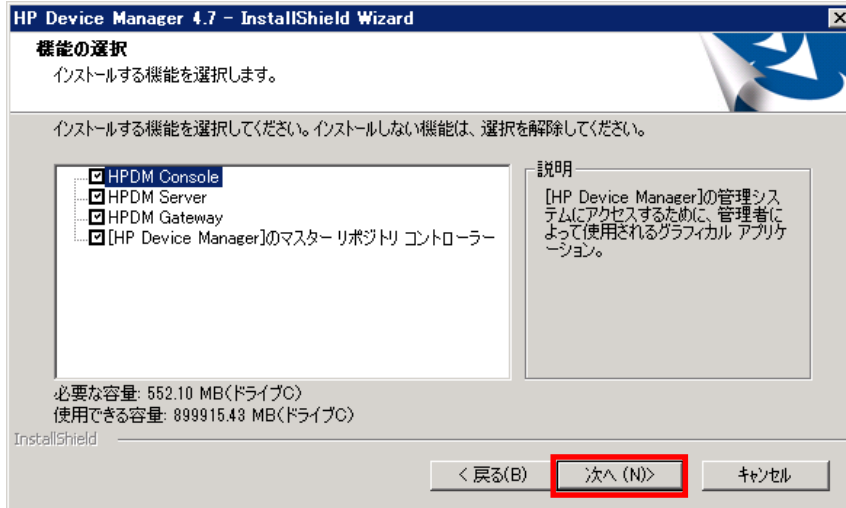
5. セットアップタイプ画面でセットアップタイプに“カスタム”を選択して、“次へ”をクリックします。

※セットアップタイプには以下を選択できます。

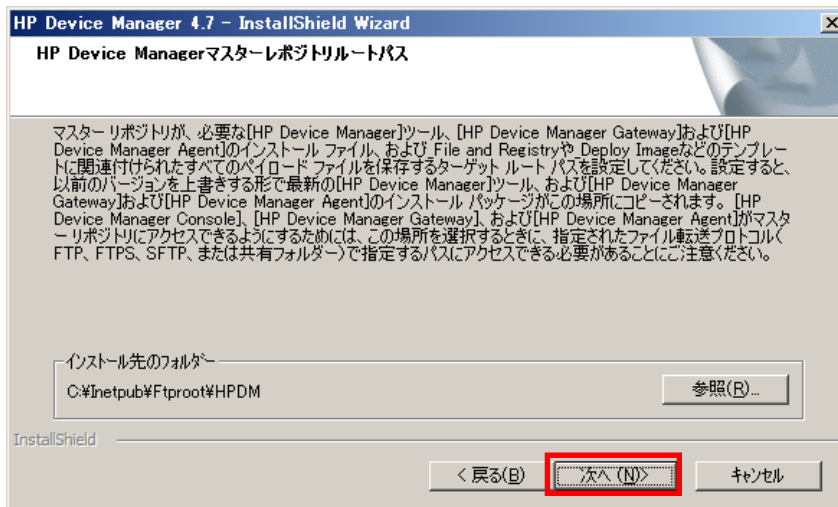
- すべて
全てのコンポーネントがデフォルトの設定でインストールされます
- カスタム
インストールするコンポーネントを選択でき、初期設定を変更できます



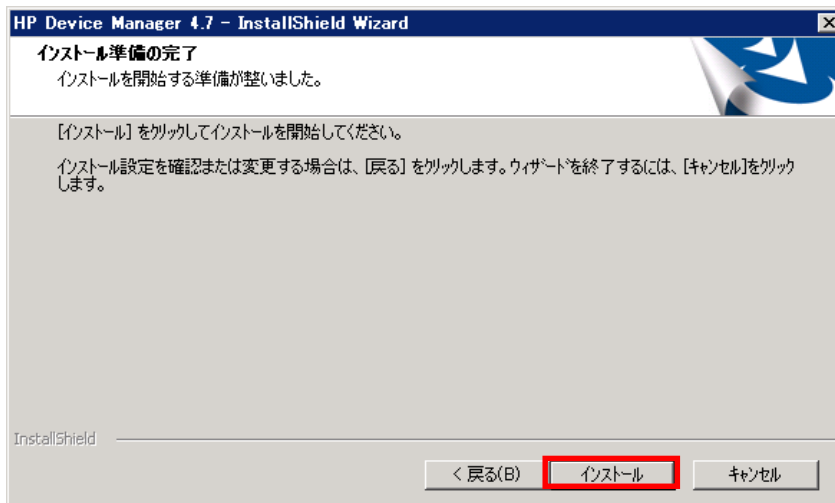
6. 機能の選択画面で“次へ”をクリックします。



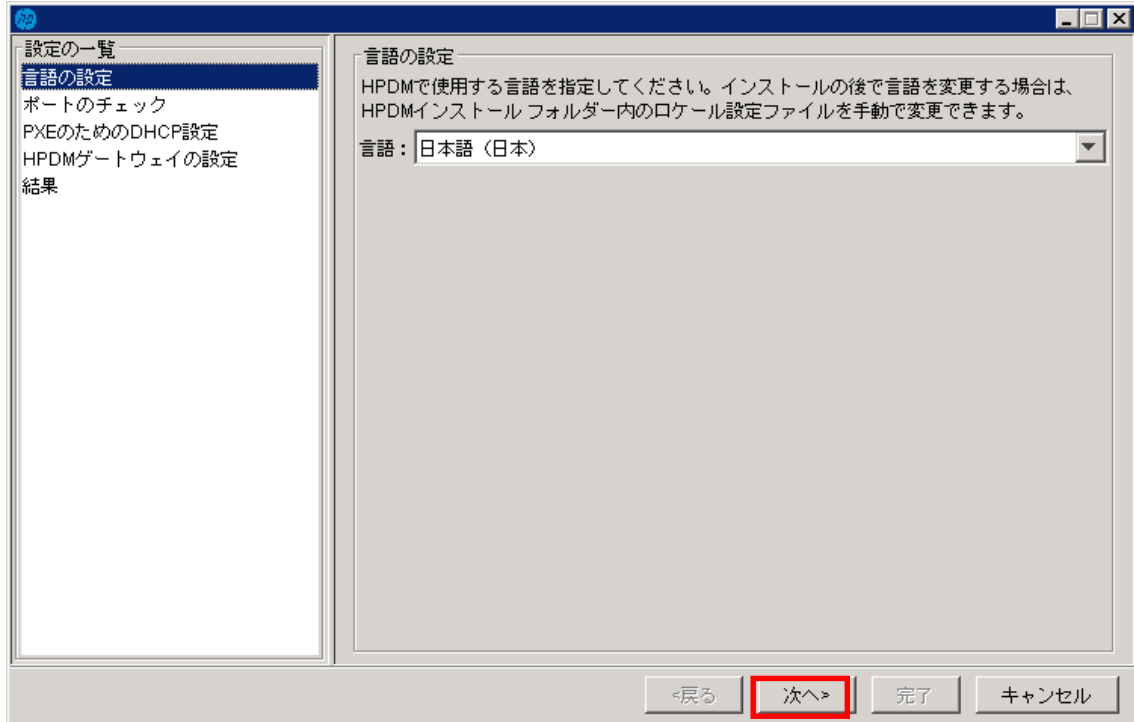
7. HP Device Manager マスターリポジトリルートパス画面で、マスターリポジトリのインストール先フォルダを確認して“次へ”をクリックします。



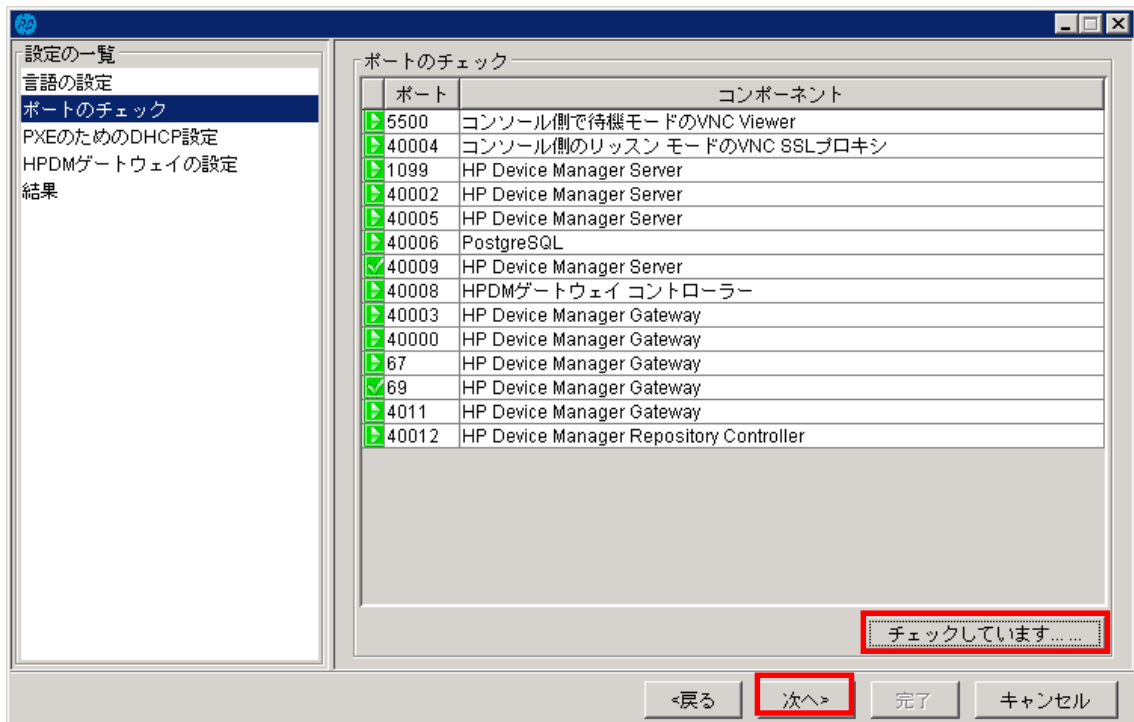
8. インストール準備の完了画面で、“インストール”をクリックします。



9. 設定の一覧 - 言語の設定画面で、“次へ”をクリックします。

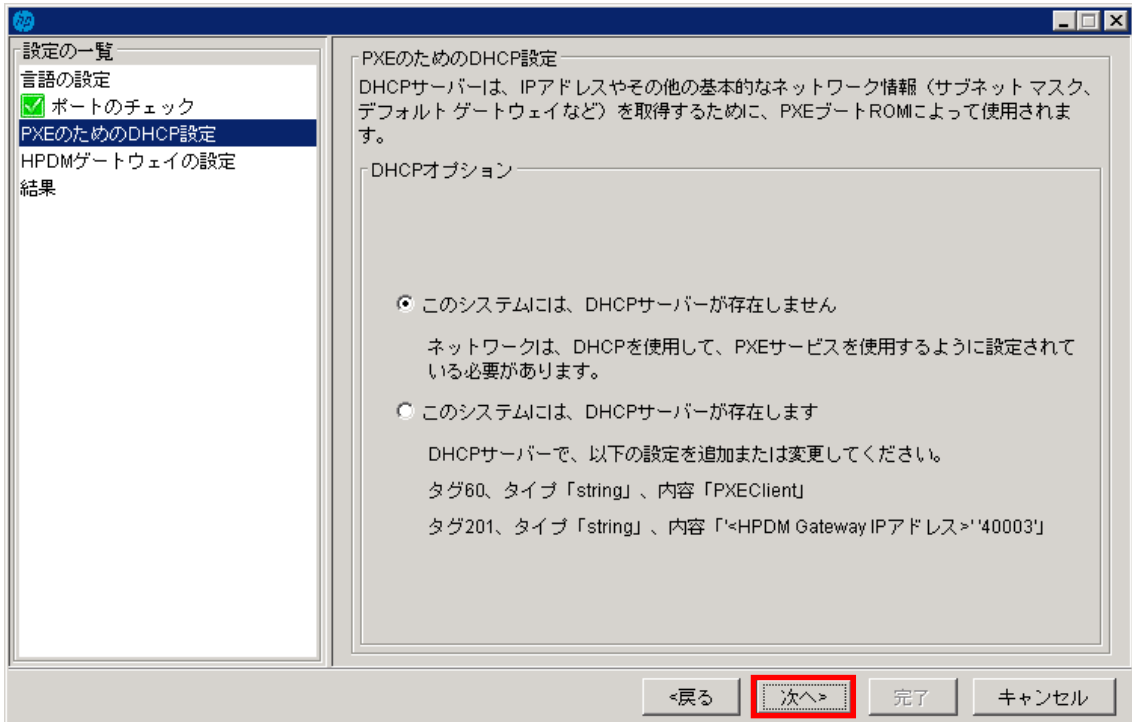


10. 設定の一覧 - ポートのチェック画面で、“チェックしています”をクリックします。ポートに問題が無いことを確認して“次へ”をクリックします。

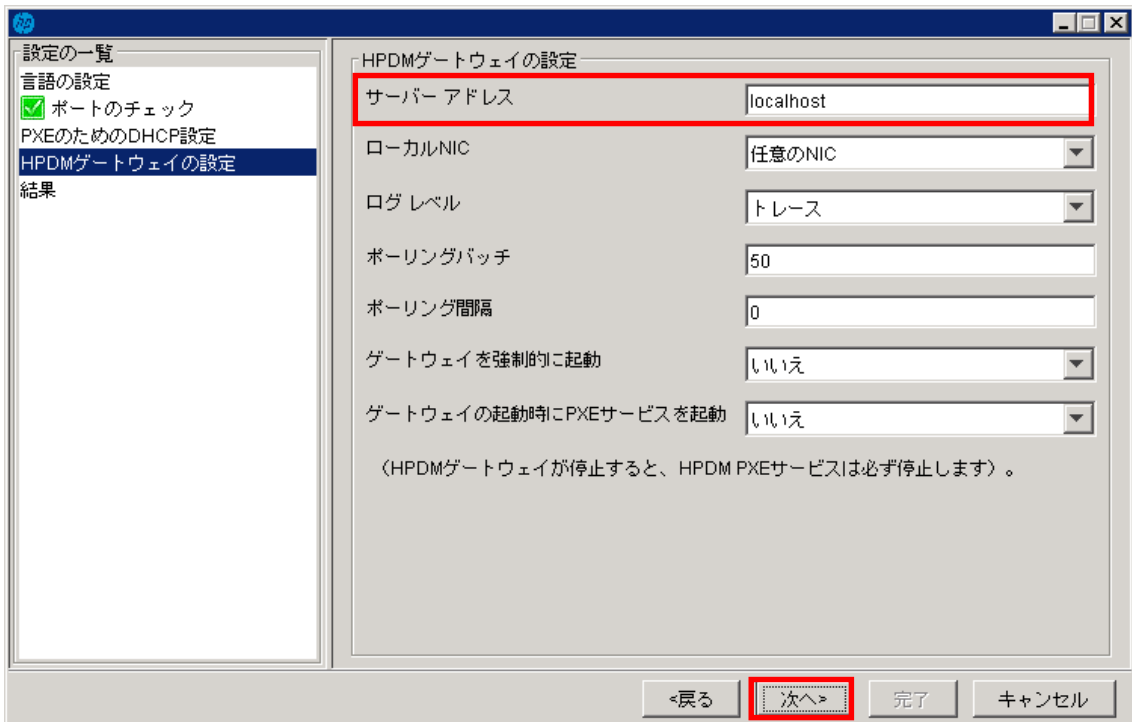


11. 設定の一覧 – PXE のための DHCP 設定画面で、デフォルトの設定のまま “次へ” をクリックします。

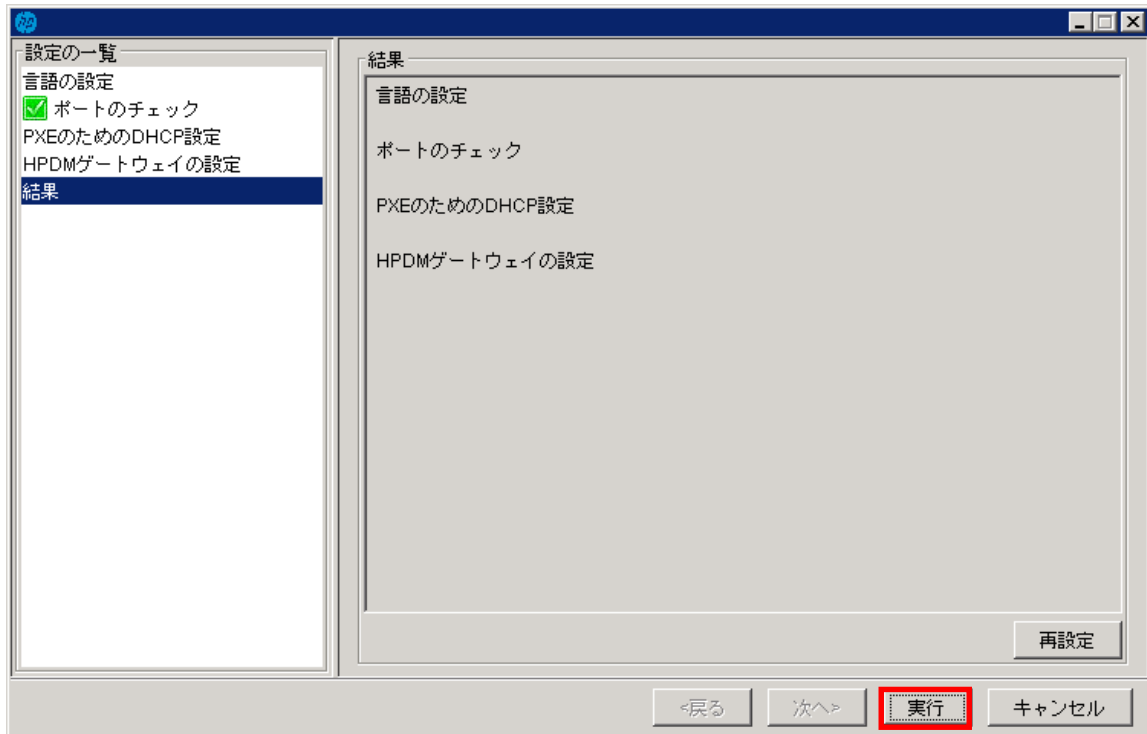
※ 現行のシンクライアント端末の機種では PXE は使用しません



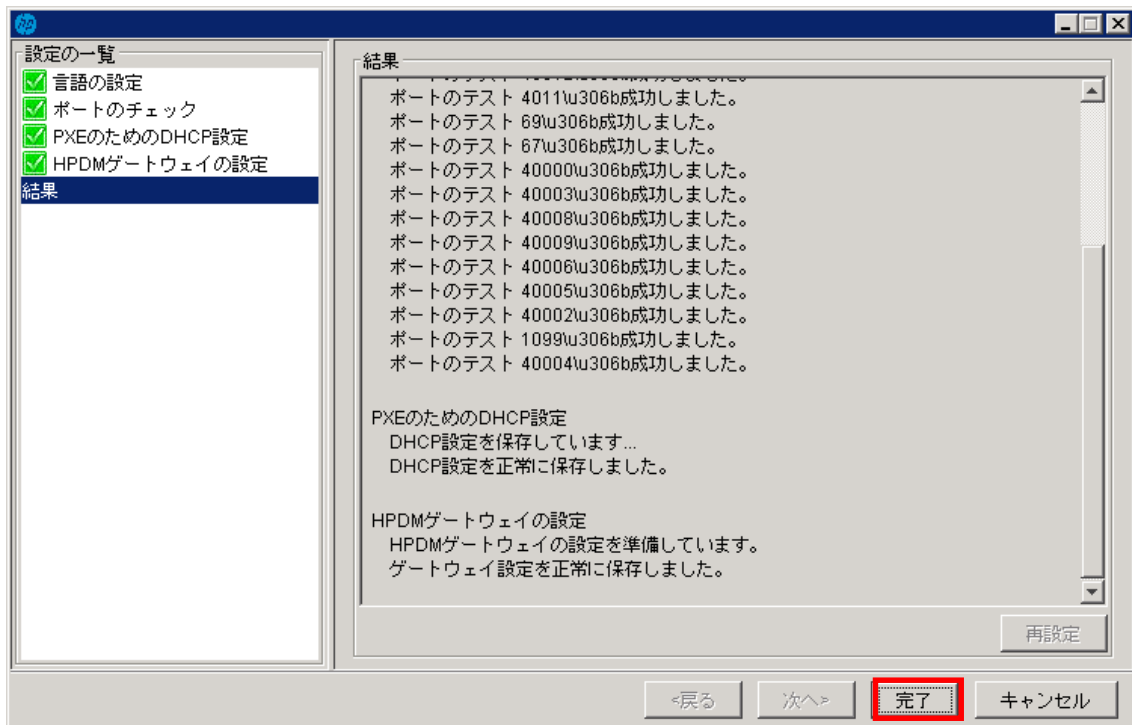
12. 設定の一覧 – HPDM ゲートウェイの設定画面で、デフォルトの設定のまま “次へ” をクリックします。インストール先のサーバーが複数の NIC を持っている場合はサーバーアドレスに HPDM ゲートウェイとして使用する IP アドレスを選択します。



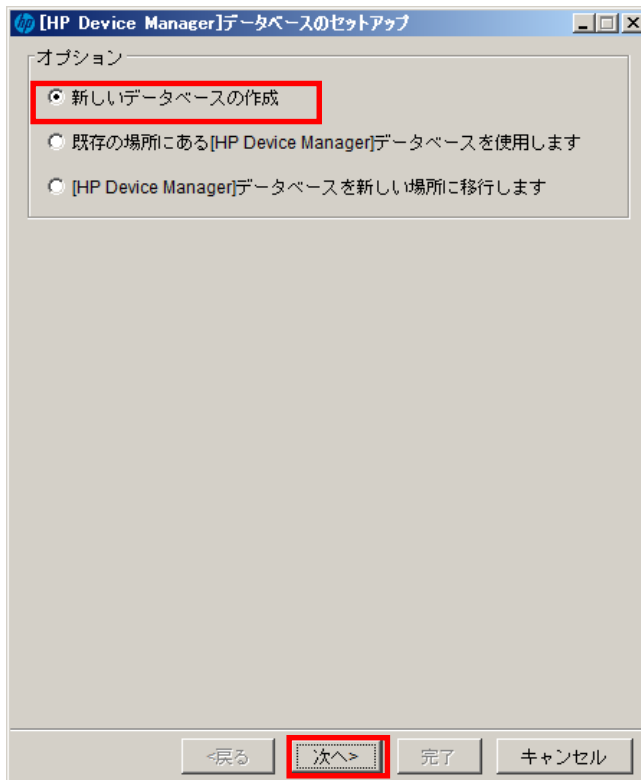
13. 設定の一覧 – 結果画面で、“実行”をクリックします。



14. 設定の一覧 – 結果画面で、“完了”をクリックします。

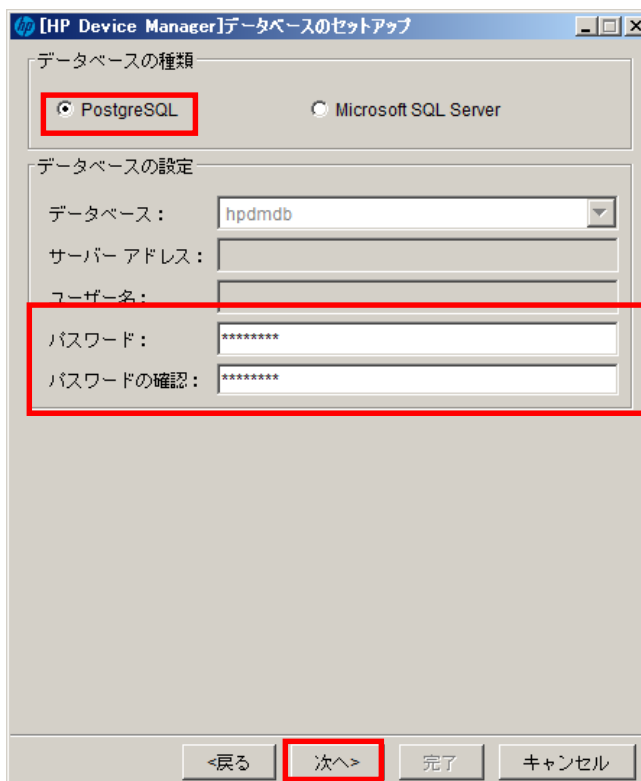


15. [HP Device Manager]データベースのセットアップ画面で“新しいデータベースの作成”を選択して“次へ”をクリックします。

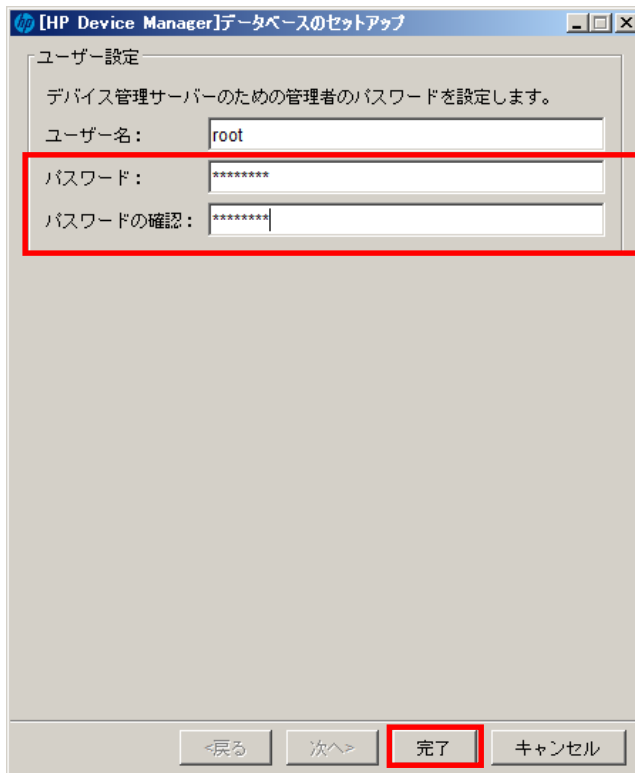


16. データベースの種類に“PostgreSQL”を選択します。

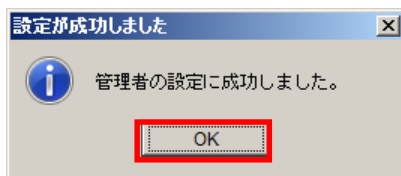
17. データベースの設定で、データベースの管理者ユーザー用のパスワードを新規に設定し、“次へ”をクリックします。



18. ユーザー設定で、HPDM の管理者ユーザー（root）のパスワードを新規に設定し、“完了”をクリックします。



19. 設定が成功しましたのダイアログが表示されたら“OK”をクリックします。



20. InstallShield Wizard の完了画面で“完了”をクリックします。

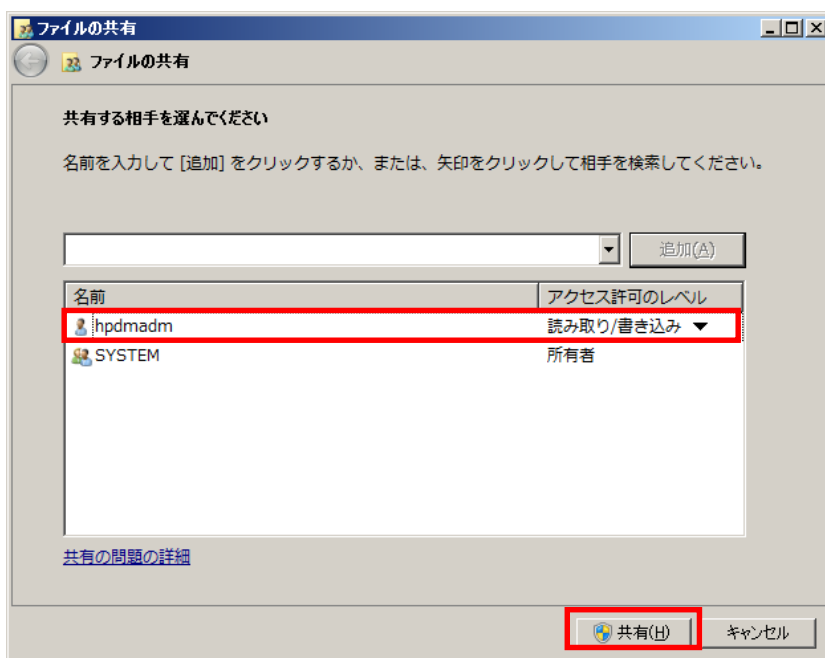


以上で HPDM の新規インストールは完了です。引き続きマスターリポジトリの設定を行います。

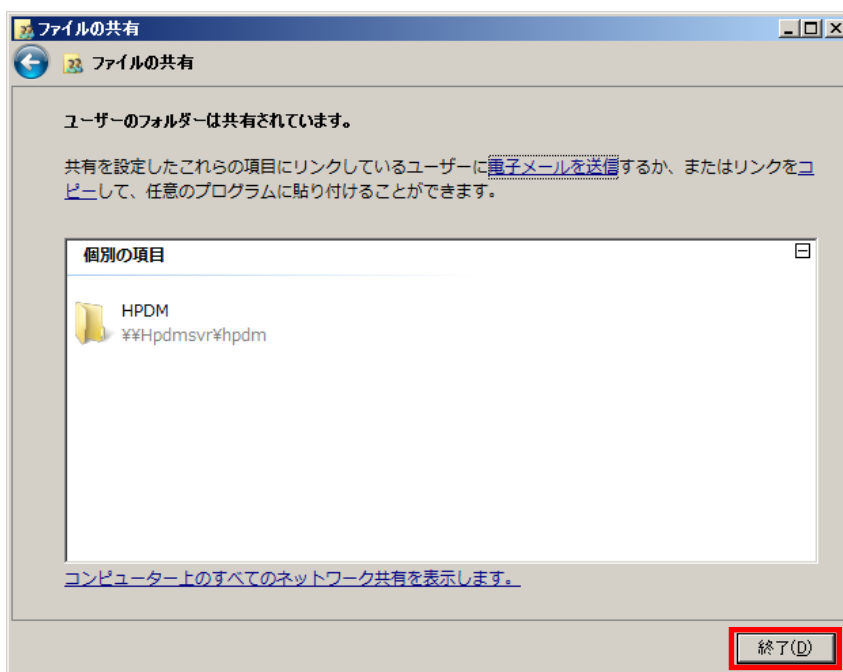
4. マスターリポジトリの設定

HPDM のインストールが完了したらマスターリポジトリを設定します。マスターリポジトリはデバイスとのファイルのやり取りに使用します。

1. Windows エクスプローラを起動してマスターリポジトリのインストール先フォルダ（デフォルトの設定では C:\inetpub\ftproot\HPDM フォルダ）を右クリックして“共有” → “特定のユーザー” をクリックします。
2. ファイルの共有で、事前に作成したユーザー“hpdmadm”のアクセス許可のレベルが“所有者”または“読み取り/書き込み”に設定し、“共有”をクリックします。



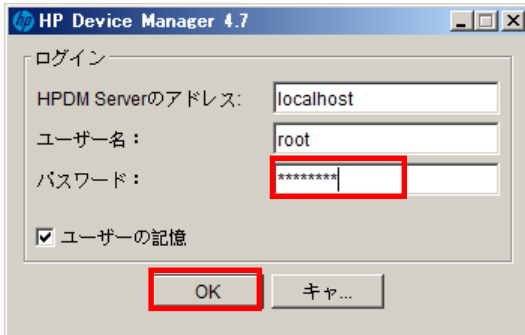
3. HPDM フォルダの共有が完了したら“終了”をクリックしてファイル共有のウィンドウを閉じます。



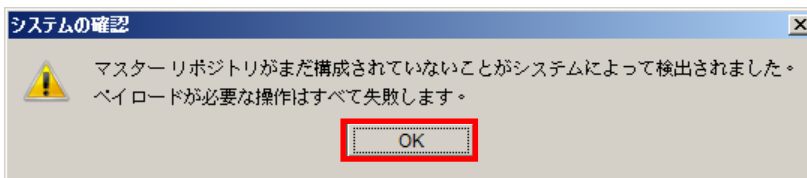
4. デスクトップ上の[HP Device Manager]コンソールアイコンをダブルクリックします。



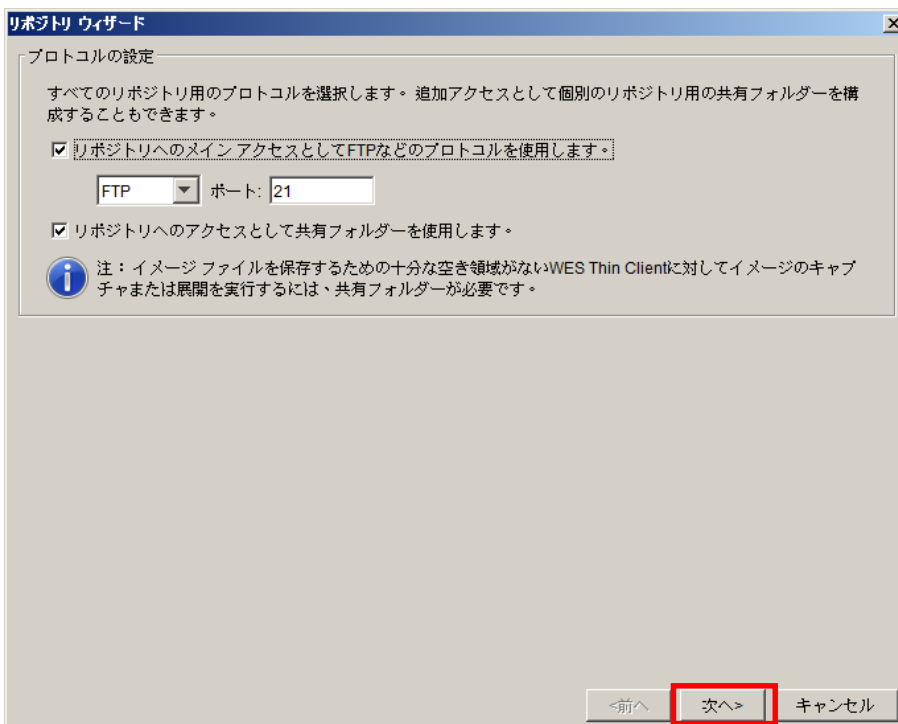
5. インストール時に設定した管理者（root）ユーザーのパスワードを入力して“OK”をクリックします。



6. HPDPM コンソールにログインすると、マスターリポジトリがまだ構成されていないことを通知するダイアログが表示されますので、“了解”をクリックします。



7. リポジトリウィザードが起動します。プロトコルの設定画面ではそのまま“次へ”をクリックします。



8. マスターリポジトリの基本情報のサーバーアドレスにマスターリポジトリサーバー（HPDMをインストールしたサーバー）のアドレスまたはホスト名を入力します。
9. FTP プロトコルの設定で、事前に作成した HPDM ユーザーアカウントのユーザー名（hpdmadm）とパスワードを入力し、作業フォルダに“HPDM”と入力します。
10. 共有フォルダープロトコルの設定で、事前に作成した HPDM ユーザーアカウントのユーザー名（hpdmadm）とパスワードを入力し、作業フォルダに“HPDM”と入力します。（初めから入力されています）
11. “保存”をクリックします。

12. 自動的にリポジトリのテストが開始します。リポジトリのテストの結果で、プロトコルFTPとプロトコル共有フォルダーの両方のテストが正常に完了した事を確認し、“了解”をクリックします。

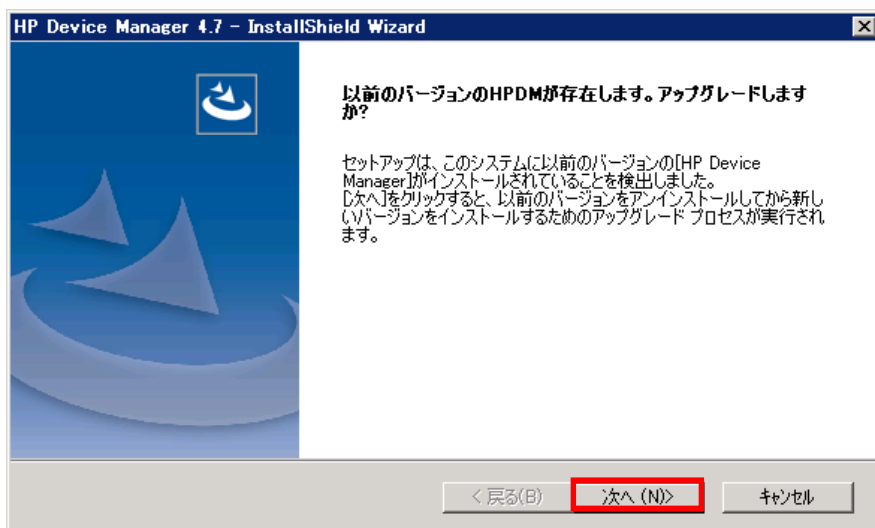
以上でマスターリポジトリの設定は完了です。

5.HPDM のアップデート

以前のバージョンの HPDM がインストールされている場合は、新しいバージョンの HPDM インストーラを使用して HPDM をアップデートできます。

以下の手順では 1 台のサーバーに HPDM コンソール、HPDM サーバー、HPDM ゲートウェイ、マスターリポジトリコントローラーがインストールされている標準的な HPDM のインストール構成の状態からアップデートします。

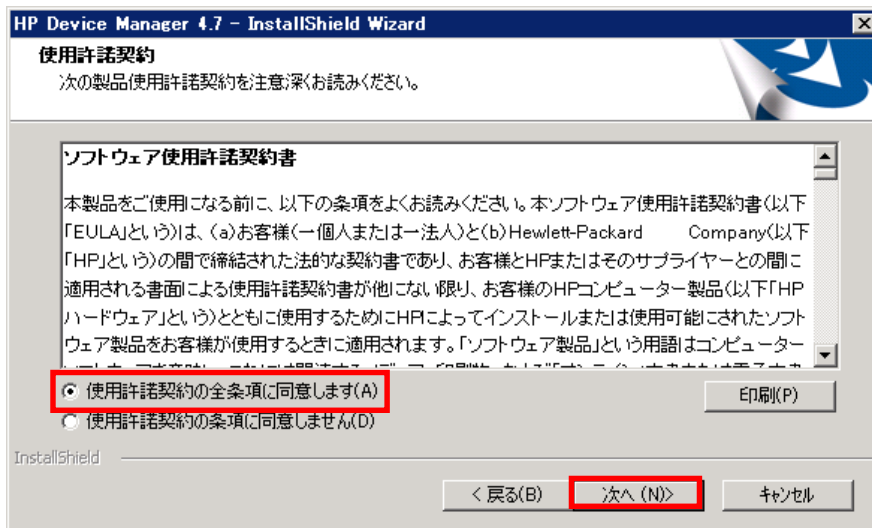
1. HPDM がインストール済みのサーバーに管理者権限のあるユーザーログオンして HP Device Manager のインストーラ（HP_Device_Manager-4.7.exe）を実行します。
※またはインストーラを“管理者として実行”します。
2. InstallShield Wizard が起動して以前のバージョンの HPDM が存在します。アップグレードしますか？のメッセージが表示されたら“次へ”をクリックします。



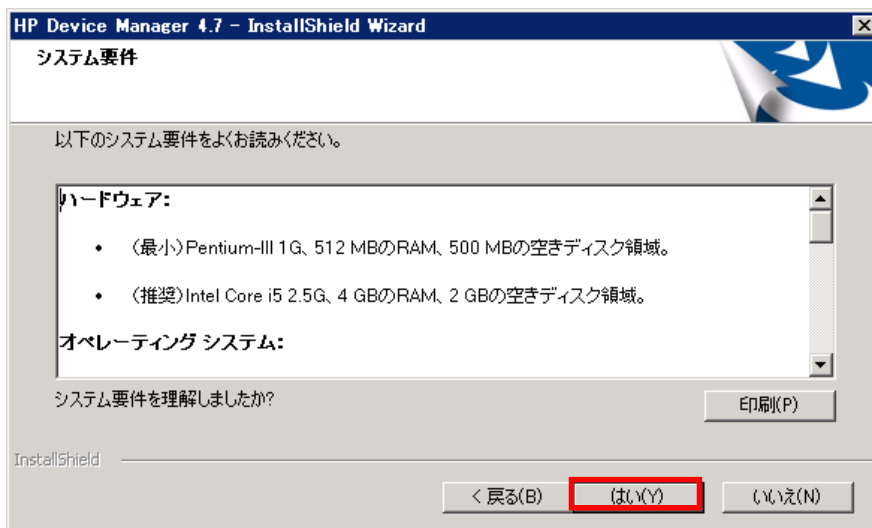
3. HP Device Manager 4.7 の InstallShield Wizard へようこそ画面で、“次へ”をクリックします。



4. 使用許諾契約画面で“使用許諾契約の全条項に同意します”を選択し、“次へ”をクリックします。



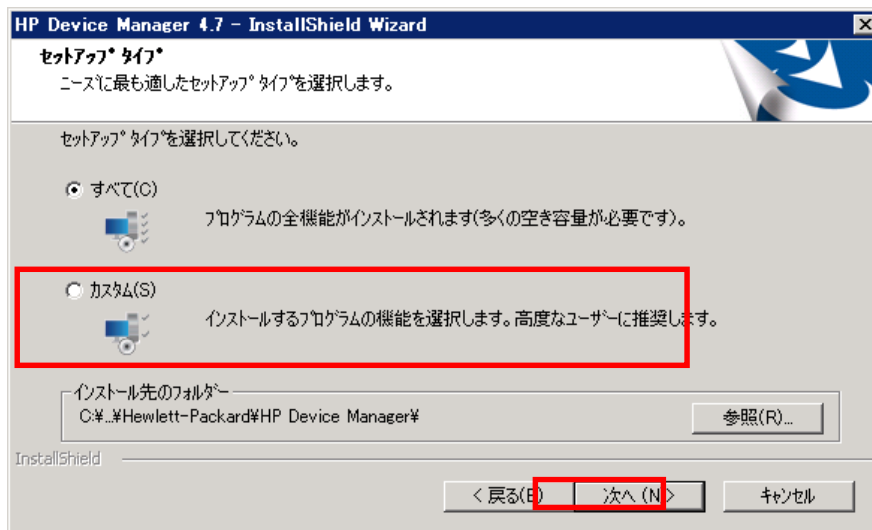
5. システム要件画面で、“はい”をクリックします。



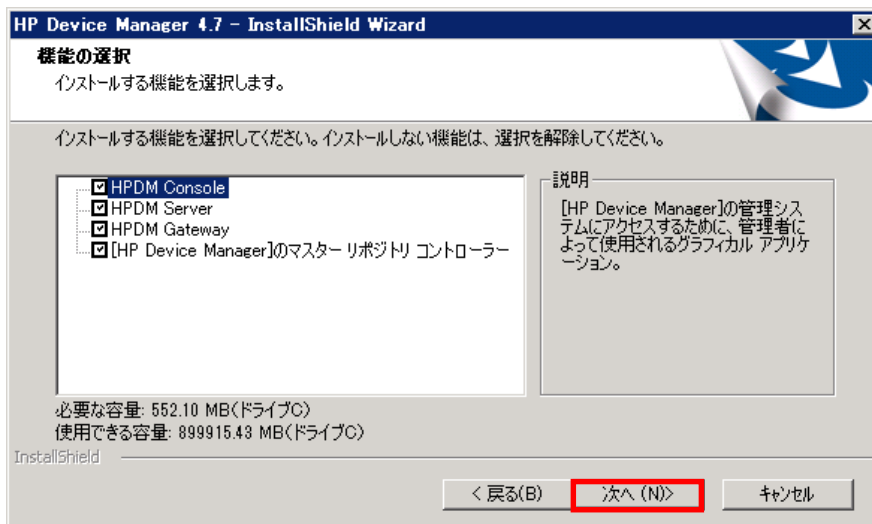
6. セットアップタイプ画面でセットアップタイプに“カスタム”を選択して、“次へ”をクリックします。

※セットアップタイプには以下を選択できます。

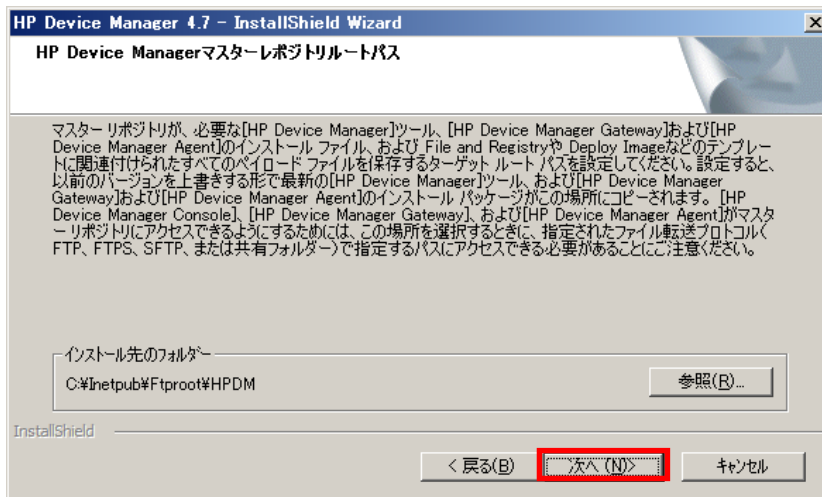
- すべて
全てのコンポーネントがデフォルトの設定でインストールされます
- カスタム
インストールするコンポーネントを選択でき、初期設定を変更できます



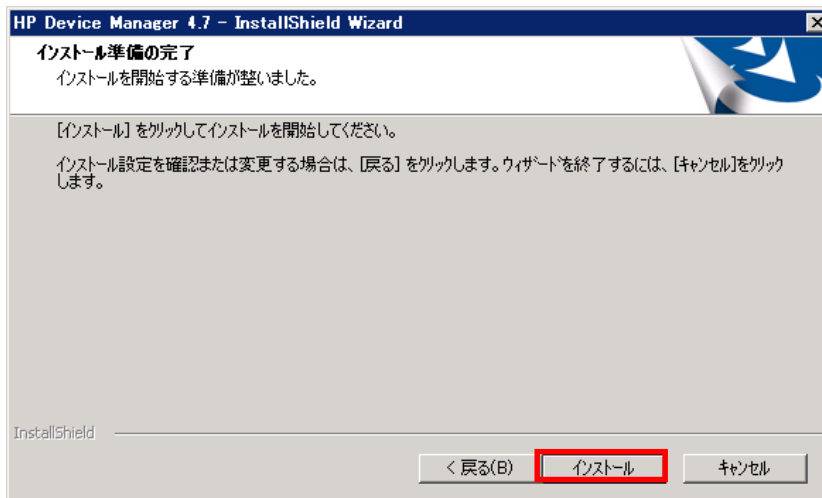
7. 機能の選択画面で“次へ”をクリックします。



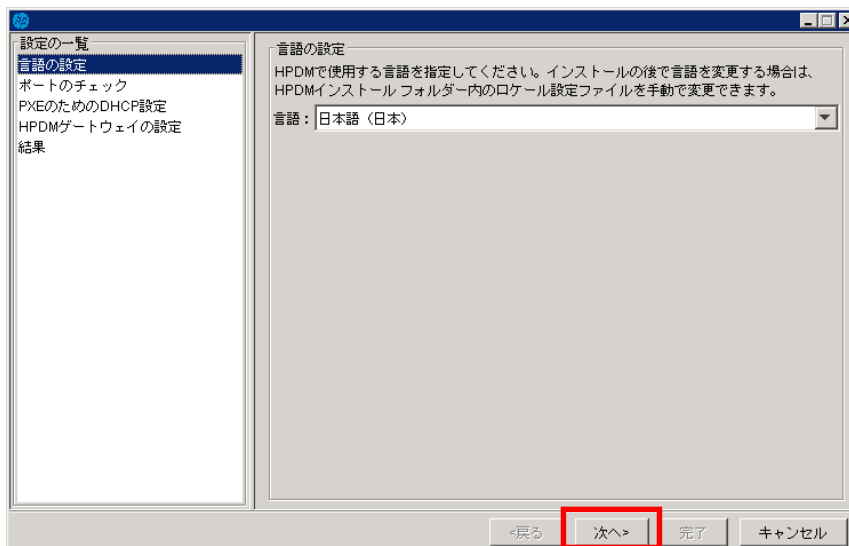
8. HP Device Manager マスターリポジトリルートパス画面で、FTP 共有フォルダ内にマスターリポジトリのインストール先フォルダを指定して“次へ”をクリックします。



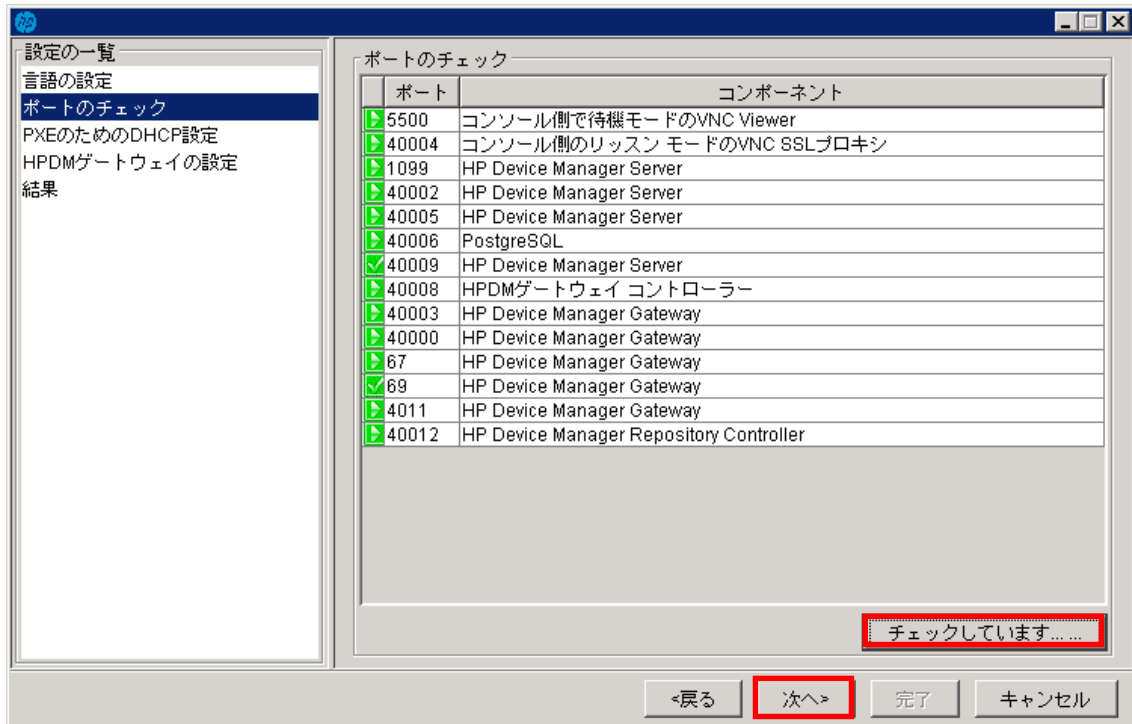
9. インストール準備の完了画面で、“インストール”をクリックします。



10. 設定の一覧 - 言語の設定画面で、“次へ”をクリックします。

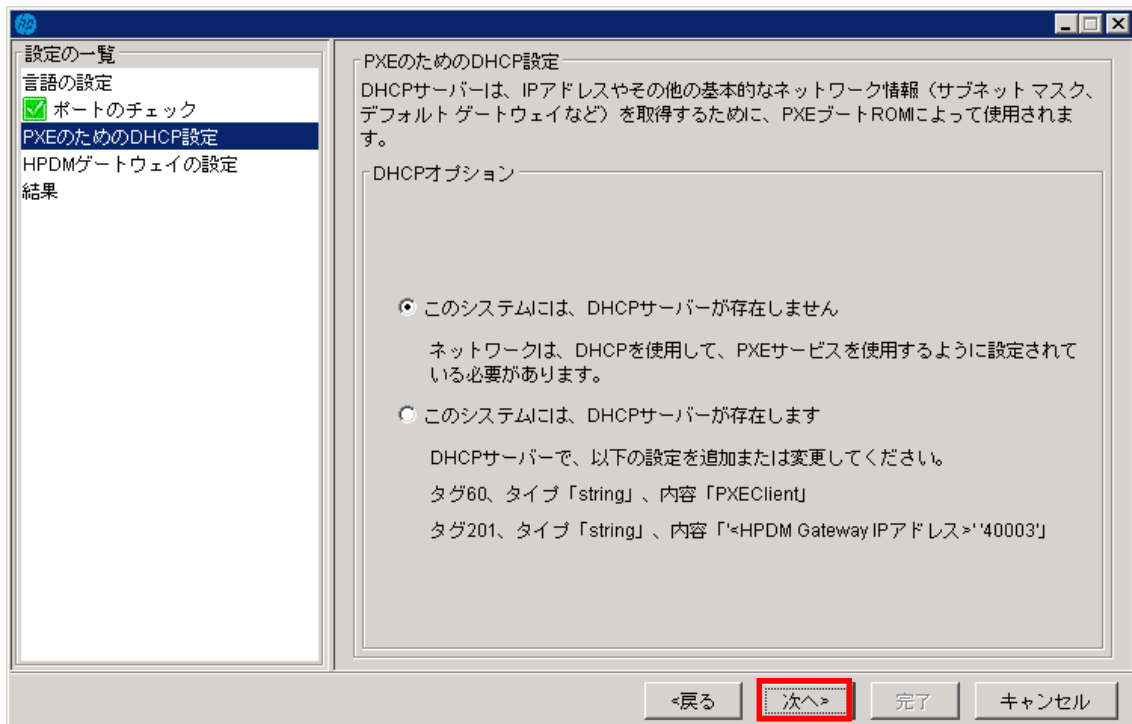


11. 設定の一覧 – ポートのチェック画面で、“チェックしています” をクリックしてポートをチェックして“次へ” をクリックします。

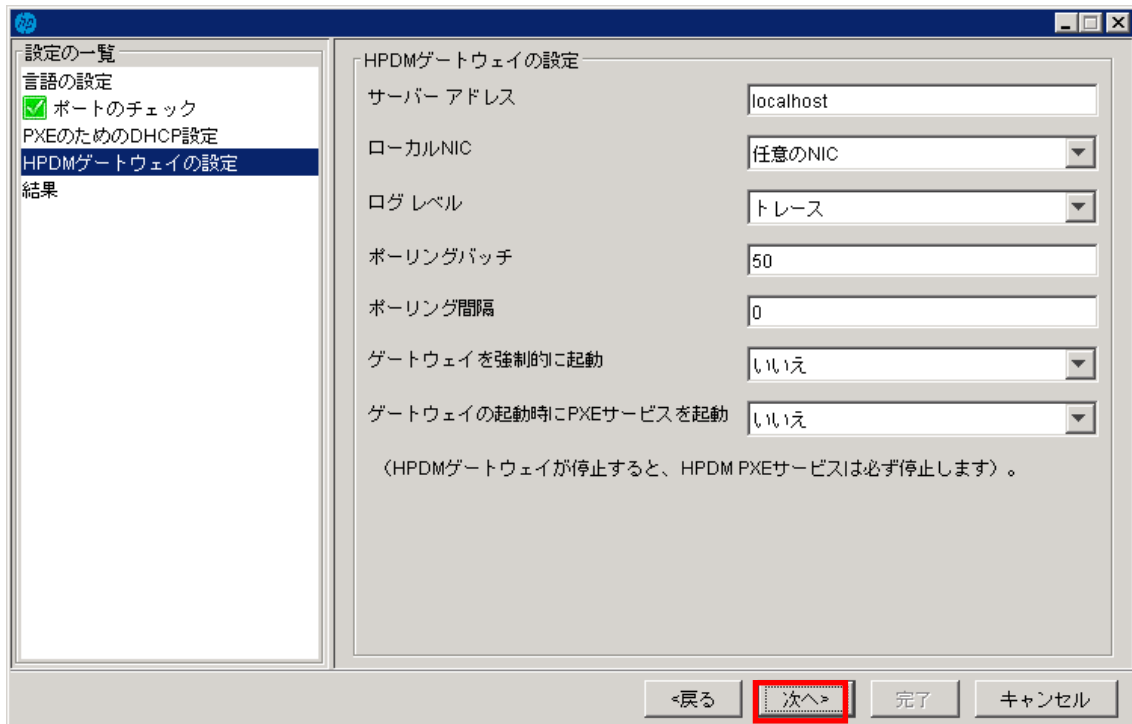


12. 設定の一覧 – PXE のための DHCP 設定画面で、デフォルトの設定のまま“次へ” をクリックします。

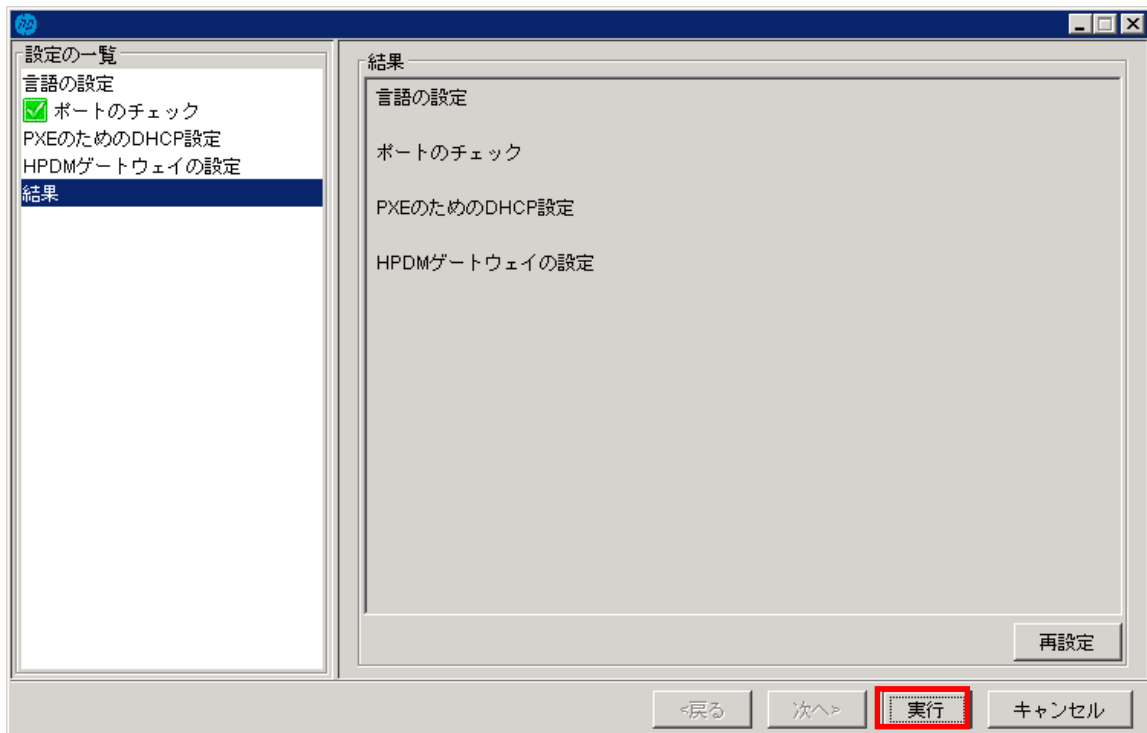
※ 現行のシンクライアント端末の機種では PXE は使用しません



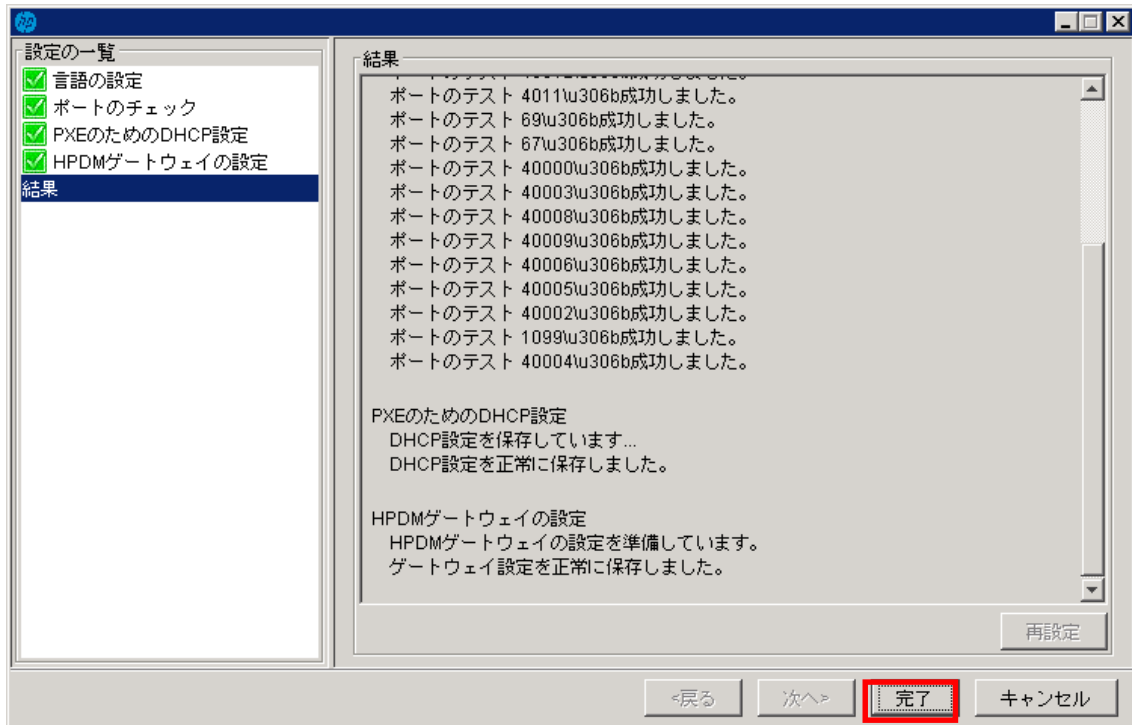
13. 設定の一覧 – HPDM ゲートウェイの設定画面で、デフォルトの設定のまま“次へ”をクリックします。インストール先のサーバーが複数の NIC を持っている場合はサーバーアドレスに HPDM ゲートウェイとして使用する IP アドレスを選択します。



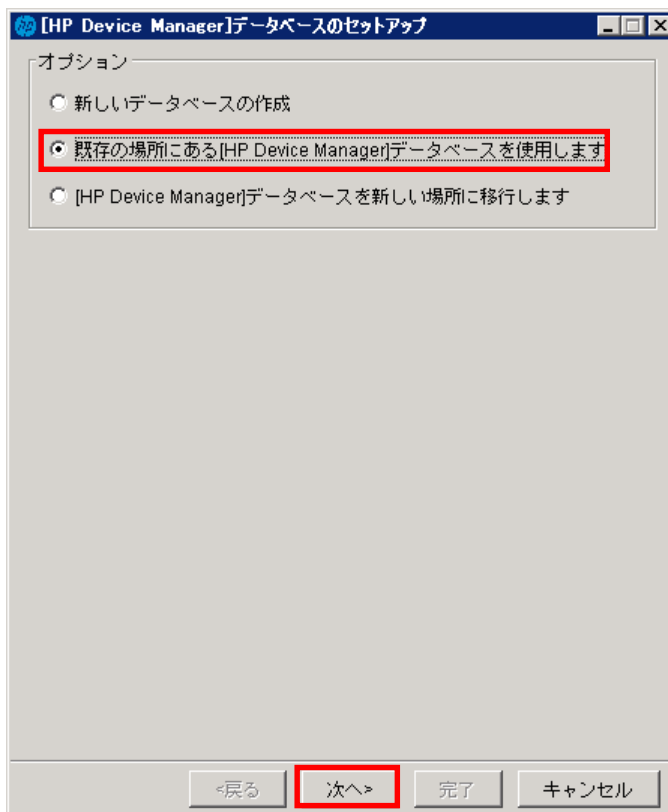
14. 設定の一覧 – 結果画面で、“実行”をクリックします。



15. 設定の一覧 – 結果画面で、“完了”をクリックします。

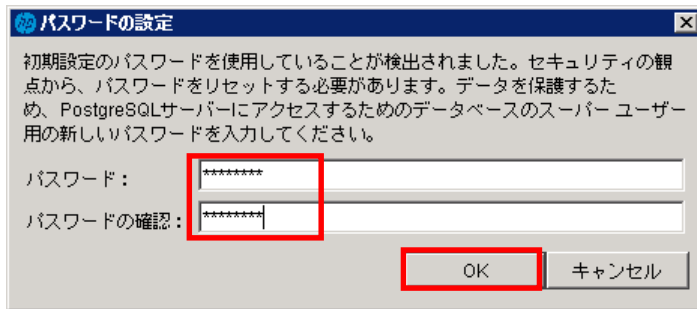


16. [HP Device Manager]データベースのセットアップ画面で“既存の場所にある[HP Device Manager]データベースを使用します”を選択して“次へ”をクリックします。

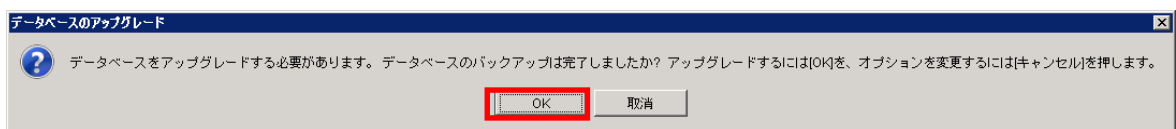


17. パスワードの設定ダイアログが表示されたら PostgreSQL データベースの管理者ユーザー用のパスワードを設定して “OK” をクリックします。

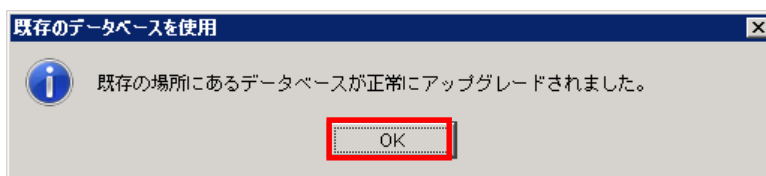
※このダイアログはデータベースに PostgreSQL を使用している場合にのみ表示されます



18. データベースのアップグレードのダイアログが表示されたら “OK” をクリックします。



19. 既存のデータベースを使用のダイアログが表示されたら “OK” をクリックします。



20. InstallShield Wizard の完了画面で “OK” をクリックします。



以上で HPDM のアップデートは完了です。

本書の取り扱いについて

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、該当製品およびサービス保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

この文書の著作権は株式会社 日本 HP に帰属します。日本 HP の許可なく一部または全体の複製・転載・編集等を行うことや、許可されていない第三者への開示等の行為全てを禁止します。

本文中使用される企業名、製品名、商標などはそれを保持する企業・団体に帰属します。

© 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

HPシンククライアントに関する情報

<http://www.hp.com/jp/thinclient>

